



創立70周年「つづく つながる 夢を育てる学び舎」

国立二小だより

令和2年(2020年)9月30日

国立市立国立第二小学校

校長 小林 理人

今できること 学校生活を支える子供たちの活躍

校長 小林 理人

校庭の木々の葉も赤や黄色に色付き始め、校長室の前にあるプラタナスの大きな葉っぱも鮮やかな黄色になりました。

プラタナス(学級)が開級した5年前は私の背丈ほどだった木の高さも、気が付くと校舎の屋上に届きそうです。校歌に「伸びる希望のプラタナス」とあるように、短期間に大樹に成長するプラタナスは、子供の活躍や成長を、温かく、期待を込めて見守っているようです。

35℃を超える猛暑で始まった9月でしたが、子供たちは暑さの中で「今できること」に挑戦し、学校生活を工夫したり、楽しんだりする中でうれしい活躍や成長が見られました。特に、2学期から活動を開始した委員会活動での活躍や成長は素晴らしく、学校生活を支えました。

あいさつ運動(保健委員会)

「二小の子供たちは気持ちのいい挨拶ができますね。」と地域や保護者の皆様に褒めていただくことが多くなりました。気持ちの良いあいさつは二小の自慢のひとつになりました。そして、その自慢のあいさつに繋がっているのは保健委員会が学期毎に行っているあいさつ運動です。

先日、今年度初めてのあいさつ運動がありました。大きな声を出したり、密集をつくったりせず行うにはこれまでの活動を大きく見直す必要がありました。

子供たちは先生のアイデアをもとに、右の写真のようにあいさつの言葉を書いたカードを使ってあいさつ運動を行いました。初めての挑戦に戸惑いもあったようですが、カードを見てあいさつをしてくれる子供たちも多くなり、効果を実感できたようです。



テレビ集会(集会委員会)

二小の子供たちは集会委員会が計画する児童集会を楽しみにしています。しかし、今年はこれまでのように体育館や校庭に集まることができません。その中で、子供たちが考えたのはテレビを使った「この先生は誰でしょう集会」です。

集会委員会では新しく二小に迎えた先生をみんなに知ってもらうこと、テレビでも盛り上がるゲームにすることを中心に内容を工夫しました。そして、あらかじめ撮影した動画をテレビ放送で流しながら集会を進めました。集会を通して楽しい時間をみんなで共有し、一体感が高まりました。

花壇の水やり(美化委員会)

二小にはたくさん花壇があります。そして、花壇には四季折々の花が咲き、私たちを楽しませてくれています。その花壇の水やりを美化委員会の子供たちが始めました。新しい学校生活では、感染予防のため通常の清掃活動ができません。これまで清掃後の点検を日常の仕事にしていた美化委員会の子供たちは、「今できること」として花壇の水やりを考えました。みんなよりも少し早く登校し、花壇の水やりを毎朝の活動として行っています。

雨の少ない猛暑が続いた9月でしたが、美化委員会の活動により、花は枯れることなく秋を迎えることができました。

明日から10月になります。10月は「団結」を意識し、学級や学年、学校全体の一体感を味わう活動を楽しんだり、工夫したりしながら集団としての和をつくります。通常であれば運動会や遠足などの学校行事がその機会となりますが、今年はできません。9月同様、新しい学校生活の中で「今できること」を考えたり工夫したりします。先日、ご案内した「にしょうのみらいにたねをまこうプロジェクト」もそのひとつです。その他にも学年や委員会、クラブ活動で計画している活動もあるようです。みんなで団結し、集団としての成長をめざします。